

(鑄造製品の不良)

検査時間を**50%**以上短縮し、
高い省エネルギー性を実現。

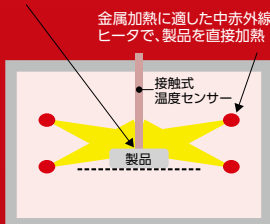
鑄造製品の不良検査装置

ブローホールチェッカーBC-1

〈中部電力株式会社 共同開発〉



接触式温度センサーで、
製品を直接測定するため、
正確な温度で検査可能



ブローホールチェッカーBC-1
(中赤外線ヒータ式)

鑄造製品の不良検査は、従来の熱風を利用した検査方法では製品を約20～30分加熱する必要がありました。ブローホールチェッカーBC-1は、金属加熱に適した約1,250℃の中赤外線ヒータにより、製品を直接加熱することで、検査時間を大幅に短縮しました。さらに、立ち上げ時間も短く高い省エネルギー性を実現します。アルミダイカストの生産性向上に貢献します。

会社概要 (2020年9月30日現在)

社名 日本ルツボ株式会社(登記上社名:日本坩堝株式会社)
Name:Nippon Crucible Co., Ltd.
設立 明治39年(1906年)12月
本店所在地 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル
TEL(代表): 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191
資本金 7億452万円
証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
会計監査人 有限責任監査法人トーマツ
証券コード 5355
従業員数 連結 247名 単体 180名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
株式に関する お手続きについて (住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合 (特別口座) みずほ信託銀行(TEL:0120-288-324)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告(https://www.rutsubo.com/) (ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)

経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。

Heart&Spirit

当社は、明治18年の創業以来、お客様ニーズを的確に把握し新製品の開発、新ジャンルの開拓を推進し進めてまいりました。21世紀も、その姿勢は変わりません。

Ecology

当社は、どんなに優れた技術であっても地球環境にダメージをあたえてはならないと考えます。環境に対して求められるもの、必要なものを展望しながら製品・設備を提供してまいります。

Challenge

「現状維持は退化につながる」という発想のもと、常に新しい技術を開発し続け、新しい分野への進出によりお客様の満足を実現してまいります。



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

URL:<https://www.rutsubo.com/>



Heart&Spirit Ecology Challenge

NIKKAN

Report

第181期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

証券コード 5355

当社は、グループ丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が継続しました。自動車を中心とした輸出の落ち込み、工場の稼働停止等の生産活動の抑制により企業収益が大幅に落ち込みました。今後の先行きについては、企業の業況判断が足元で若干改善し、工場の稼働再開など持ち直す動きもみられますが、感染症の再拡大への警戒感もあって、きわめて不透明な状況となっています。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、夏以降の輸出や生産の持ち直しを背景に景況感の改善はみられるものの、国内販売等の前年比減少幅は引き続き大きく、先行きは楽観できない状況にあります。特に、自動車産業への依存度の大きい中小部品メーカーは、厳しい状況が続く見通しであります。

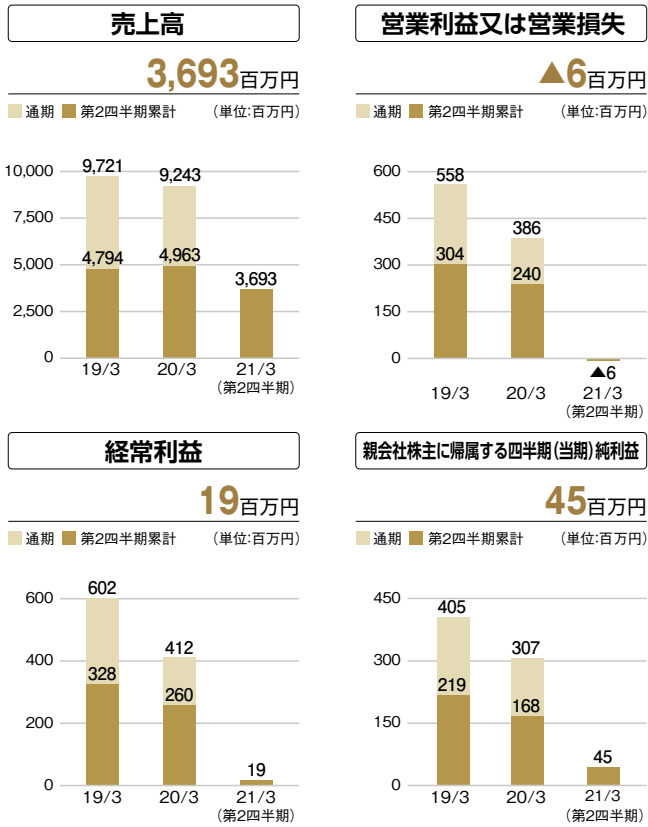
鉄鋼産業は、自動車をはじめとする鉄鋼需要産業の操業が大幅に落ち込んだこと等から粗鋼生産量が減少し、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は36億9千3百万円と前年同四半期比25.6%減少いたしました。利益面では、営業損失6百万円(前年同期は営業利益2億4千万円)、経常利益1千9百万円(前年同四半期比92.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4千5百万円(前年同四半期比73.1%減)と、大変厳しい結果になりました。

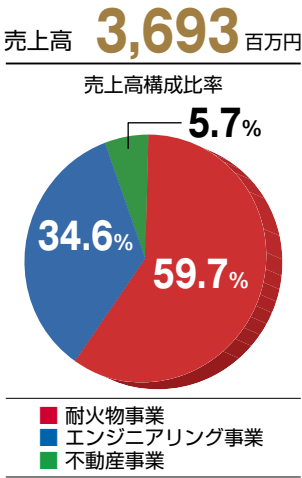
当社は、グループ丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。今後とも、株主の皆様より変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
大久保 正志

連結財務ハイライト



セグメント別概況(連結)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)		(単位:千円)
	当第2四半期連結会計期間 (2020.9.30)	前連結会計年度 (2020.3.31)
資産の部		
流動資産	6,039,694	6,544,684
固定資産	4,372,068	4,382,238
(有形固定資産)	(2,556,343)	(2,583,661)
(無形固定資産)	(337,757)	(361,335)
(投資その他の資産)	(1,477,968)	(1,437,242)
資産合計	10,411,762	10,926,922
負債の部		
流動負債	3,331,306	3,888,789
固定負債	2,378,571	2,317,194
負債合計	5,709,877	6,205,983
純資産の部		
株主資本	4,573,539	4,624,254
その他の包括利益累計額	128,346	96,685
純資産合計	4,701,885	4,720,939
負債純資産合計	10,411,762	10,926,922

四半期連結損益計算書(要旨)		(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (2020.4.1~2020.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2019.4.1~2019.9.30)
売上高	3,692,890	4,963,406
売上総利益	869,221	1,267,925
営業利益又は営業損失(△)	△ 6,199	240,365
経常利益	19,127	260,107
税金等調整前四半期純利益	82,331	260,055
四半期純利益	45,218	167,936
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,218	167,936

(注) 1. 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
2. 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。